

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	竹島水族館維持管理事業	
根拠法令等	蒲都市竹島水族館の設置及び管理に関する条例 A 法令 B 条例 C 規則 D その他 E なし			

総合計画での位置付け  
基本目標

にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名 観光
------------------	-----------

事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客のために
手 段	水族館を開館、運営することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
運営管理委託料	93,020,000円	83,707,000円	84,564,000円
使用料収入	49,548,984円	57,162,000円	55,000,000円
入場者数	123,364人	144,510人	150,000人

成果指標

成果指標名	収益率	入場者一人当たりに必要な一般財源
成果指標の説明	使用料収入/運営管理委託料	(運営管理量 - 使用料収入)/入場者数

事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	65.0%
	実績	53.3%	68.2%	-
成果指標	計画	-	-	197
	実績	352	184	-
事業費	事業費	93,020	83,707	84,564
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	95,433	86,042	86,931
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	95,433	86,042	86,931

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	2	2	入場者は順調に増加しており、収益率も向上している。
経済効率性	2	2	1	2	施設の老朽化により維持管理費用は増加している。
事務効率性	2	2	2	2	指定管理制度導入により事務効率が向上した。
必要性	3	2	2	1	竹島地区だけでなく、がまごおりを訪れる観光客からの要望が非常に強い事業である。
小計	10	8	7	7	
施策への貢献度	3	-	2	-	水族館事業は、観光立市がまごおりの魅力づくりに是非必要な施設であり貢献度は大きい。
合計	13	8	9	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	竹島を訪れる観光客が必ず訪れる場所であり、竹島と並び蒲郡を代表する観光地の中心施設である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成18年度指定管理者制度導入を機に、販売事業や出前水族館事業を行い、収益増と観覧者増をはかることができた。 《指定管理者による自主事業》 夏季夜間営業、読む水族館 水族館グッズ販売（自主事業）、三河湾環境チャレンジ	指定管理者制度導入による委託料削減額 10,532千円

今後改善すべき点

施設の老朽化とともに水槽の漏水、設備の故障が多く見受けられ、当面は現在の設備維持に努めていきたい。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	自然公園法手続事業	
根拠法令等	自然公園法	A 法令 B 条例 C 規則 D その他 E なし		

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客のために
手 段	自然公園区域(17.37km <sup>2</sup> )内の建築物や工作物などの許可手続きをすることにより
想定する成果	良好な自然公園の環境を保持する

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
申請件数(建築物)	2	1	2
申請件数(工作物)	60	54	55
許可数	62	55	57

成果指標

成果指標名	自然公園法適正許可手続数
成果指標の説明	許可数/申請件数

事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	100.0%	100.0%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,413	2,335	2,367
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,413	2,335	2,367

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	自然公園内の許可申請について、適正な指導、助言を行い、全ての申請が許可された。
経済効率性	2	2	2	2	簡易な申請については、すべて書面審査をしており、問題のある件について現地調査を行っている。
事務効率性	2	2	2	2	許可申請事務について市と県の事務分担が明確にされているため、事務が効率的に進められている。
必要性	3	3	3	3	自然環境保護が重要視されているなかで、自然公園内に不適切な建築物や工作物を規制していく必要がある。
小計	10	10	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	自然公園にふさわしい建築物、工作物が建てられることにより観光地としての魅力が増加する。
合計	12	10	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	三河湾国定公園を有する本市においては、自然保護法の事務手続きは件数も多く、自然環境保護のため重要な事務である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
複数の職員が指導、助言を行うことができ、自然公園法申請者に不便をかけないよう、また迅速に事務をすすめ出来るだけ早く許可を出せるよう職場内で事務手続きの研修を行った。	

#### 今後改善すべき点

自然公園内の建築物や工作物の建築などには、細かな規制があり、許可申請が必要であることが十分知られてないことがあるため、一層の住民周知に努めたい。
--

#### 平成20年度予算に反映する項目

--

#### 今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	三河大島海水浴場運営管理事業	
根拠法令等	海水浴場における衛生対策		A 法令 B 条例 C 規則 <u>D その他</u> E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客のために
手 段	7月1日から8月31日まで三河大島に海水浴場を開設し、運営することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
利用客数	12,500人	14,000人	15,000人
経常的経費	4,765,000円	5,198,550円	5,068,000円
工事請負費	2,209,200円	23,524,500円	4,950,000円
臨時的経費	2,671,652円	3,239,907円	1,738,000円
棧橋使用協力金	704,494円	871,624円	900,000円

成果指標

成果指標名	委託料充足率	利用者一人当たりの必要一般財源
成果指標の説明	棧橋使用協力金/維持管理費 × 100	(維持管理費 - 棧橋利用協力費)/利用者数

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			7.7%
	実績	7.3%	2.7%	
成果指標	計画			723
	実績	715	2,220	
事業費	事業費	9,645	83,707	12,656
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	12,058	86,042	15,023
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	704	871	900
	一般財源	11,354	85,171	14,123

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	1	2	1	利用期間の延長を行った結果、海水浴以外の利用者も増加し、成果はあがってきている。
経済効率性	2	2	1	1	トイレや発電機などの維持管理を売店組合に委託することにより経費の節減を行っている。
事務効率性	2	2	2	2	桟橋などの管理を委託することにより、職員の事務量は少なくなっている。
必要性	2	2	2	2	海のまちがまごおりに必要な観光資源である。
小計	8	7	7	6	
施策への貢献度	2	-	2	-	海水浴場としての魅力は薄れつつあるが、まだまだ豊富な観光資源としての魅力はある。
合計	10	7	9	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	C	海が汚れ、プールの普及とともに利用者も激減し、海水浴場は苦戦しているが、今後の活用次第で有効な事業となりうる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
17年度から西浜を海水浴以外の海のレジャー利用に供することにより、全体として島を訪れる観光客が増加した。また18年度から三河大島の利用期間を延長することとした。	鯨よけネット設置費 850千円

今後改善すべき点

施設の老朽化とともに、故障が多く見受けられ、当面は現在の設備維持に努めていきたい。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡市観光協会運営補助事業		
根拠法令等	蒲郡市補助金等交付規則		A 法令	B 条例	<b>C 規則</b>
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

### 事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市観光協会及び協会会員に対して
手 段	観光客誘致事業促進のため、運営事業費等の補助をすることにより
想定する成果	観光事業の振興を図る

### 事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
総事業費	69,999,654円	63,871,653円	72,529,800円
補助総額	51,537,600円	41,756,600円	39,934,600円
年間観光客数	7,630,636人	7,140,172人	7,500,000人
主要事業内容	観光展事業、万博対策事業、クーポンブック作成事業、ポスター作成事業、マスコット広告事業、キャンペーン事業、教育旅行等誘致促進事業、職員・事務所管理費	観光展事業、クーポンブック作成事業、ポスター作成事業、マスコット広告事業、キャンペーン事業、外国人観光客誘致事業、教育旅行等誘致促進事業、職員・事務所管理費	観光展事業、クーポンブック作成事業、ポスター作成事業、マスコット広告事業、キャンペーン事業、外国人観光客誘致事業、お土産推奨品選定事業、教育旅行等誘致促進事業、職員・事務所管理費

### 成果指標

成果指標名	総事業費に対する補助率	観光客の伸び率
成果指標の説明	補助総額/総事業費 × 100	当年年間観光客数/前年年間観光客数 × 100

### 事業の進捗状況（一般会計）

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	60.5%
	実績	73.6%	65.4%	-
成果指標	計画	-	-	105.0%
	実績	96.8%	93.6%	-
事業費	事業費	51,538	41,757	39,935
	人件費	7,240	7,006	7,100
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	58,778	48,763	47,035
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	58,778	48,763	47,035

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	3	2	2	多様化された観光客のニーズを検証しながら観光振興を展開しているが、今後は観光マーケティング調査結果を基に観光客増に繋がるリピーターづくりに向けて観光振興を図る。
経済効率性	2	2	2	2	観光マーケティング調査結果を基に事業の見直しを図り、更なる観光客増に繋がる事業に絞り込む必要がある。
事務効率性	2	2	2	2	観光協会事務分担を見直し、今まで市職員が実施していた事務を市観光協会に移行した。
必要性	2	3	2	2	観光立国推進基本法が施行され、観光庁の設立も検討されている中、蒲郡の主要産業の一つである観光振興は官・民協働で実施する必要がある。
小計	8	10	8	8	
施策への貢献度	2	-	3	-	「観光交流立市宣言」をした蒲郡の観光振興を着実に推進している。
合計	10	10	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	B	B	平成16年12月に策定された「蒲郡市観光ビジョン」に則って、市民と産・官が一体となった観光振興を進めている。また、商工会議所が主体に実施している「癒しとアンチエイジングの郷」づくりにも参画し、蒲郡独自の観光色を打ち出しリピーター増を図っている。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
今まで市職員に負担が多かった観光協会事務を見直し、観光協会事業に係る事務を市から市観光協会に移行した。	

今後改善すべき点

現在、市観光協会長が市長であるため、観光協会運営が行政主導であることが否めない。今後は会長も民間に任せ、運営・事業共に民間主導の観光振興を図る必要がある。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】



## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
事業コード		事務事業名	海辺の文学記念館管理事業	
根拠法令等	蒲都市文学記念館の設置及び管理に関する条例 A 法令 B 条例 C 規則 D その他 E なし			

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び観光客のために
手 段	文学記念館を開館、運営することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
維持管理費	4,304,643円	4,449,113円	6,398,000円
入場者数	13,732人	16,651人	17,000人
時手紙件数	796件	926件	1,000件

成果指標

成果指標名	入場者一人当たりの経費	入場者のうちの時手紙利用割合
成果指標の説明	維持管理費/入場者	時手紙件数/入場者数

事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			0.376
	実績	0.313	0.267	
成果指標	計画			5.9%
	実績	5.8%	5.6%	
事業費	事業費	4,304	4,449	6,398
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	6,717	6,784	8,765
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,717	6,784	8,765

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	2	3	時手紙の利用者は年々増加しているが、保存年について再検討が必要。
経済効率性	3	3	2	3	維持管理費はほぼ安定しているが、建築から10年が経ち修繕が必要な箇所も出てきている。
事務効率性	2	2	2	2	臨時職員が館内管理及び案内を行っており市職員が一般事務を行っている。
必要性	3	3	2	1	水族館と並び竹島地区の中心となる観光施設であり、竹島地区の観光に必要である。
小計	11	11	8	9	
施策への貢献度	3	-	2	-	竹島地区だけでなく、海のまちがまごおりの文学館として非常に魅力的な観光施設である。
合計	14	11	10	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	B	
					竹島を訪れる観光客が必ず訪れる場所であり、竹島と並び蒲郡を代表する観光地の中心施設である。

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
有名な文学記念館和室から望む竹島の風景を演出するため、和室の建具豊替えを行い、館外の植栽の剪定を定期的に行っている。	

今後改善すべき点

現在常盤館関連の展示品が中心であるが、何度も訪れる観光客もあり、定期的に展示品の見直しが必要である。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1204
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	中小商工業等金融対策事業				
根拠法令等	各種融資制度の要綱		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業・工業
------------------	-------

事務事業の内容

対象(受益者)	事業を行うための設備資金・運転資金を必要としている商工業者に
手 段	市内金融機関へ県及び市から預託金を預け、低利の融資制度を設けることにより
想定する成果	経営の振興に資する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
預託金	357,000,000円		300,000,000円		340,000,000円	
融資目標額	2,308,200,000円		2,160,000,000円		2,160,000,000円	
件数	160件		158件			
融資実績額	743,070,000円		1,061,750,000円			
商工業振興資金等信用保証料補助金	78件	2,207,914円	63件	1,387,308円	97件	2,260,000円

成果指標

成果指標名	目標達成率	1件当り融資額
成果指標の説明	融資実績額 / 融資目標額	融資実績額 / 件数

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	32.2%	49.2%	
成果指標	計画			
	実績	4,644	6,720	
事業費	事業費	359,208	301,412	342,365
	人件費	8,044	7,784	7,889
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	367,252	309,196	350,254
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	367,252	300,000	340,000
	一般財源	0	9,196	10,254

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	1	1	セーフティネット等他の融資枠もあるため、利用度は少ない
経済効率性	3	3	2	2	預託金という形で金融機関に渡しているが、年度末には返してもらっている
事務効率性	2	2	2	2	保証協会の保証付融資については、市で受付後は速やかに現地調査し保証協会へ送付している
必要性	3	3	3	2	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者のためにも必要である。
小計	10	10	8	7	
施策への貢献度	2	-	2	-	商工業の活性化に必要な制度である
合計	12	10	10	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	B	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者が事業上必要とする資金の融通を円滑にすることにより、その経営の振興に資するために必要と考える。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
申し込み受付後速やかに現地調査を実施し、直ちに申込書を保証協会へ送付している。	

今後改善すべき点

平成19年10月から責任共有制度が始まり、今まで愛知県信用保証協会において100%保証されていたが、金融機関に20%責任が係るようになる。今までと同じように融資が円滑に実行されるように、金融機関に依頼すると共に広報等を通じて制度の周知を図り、利用の増進を図りたい。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1204
事業コード		事務事業名	テックスビジョンミカワ事業	
根拠法令等	なし		A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	テックスビジョンミカワ開催委員会に対して
手 段	テックスビジョンミカワの運営負担金を交付し、その活動を支援することにより
想定する成果	地域の繊維産業の振興を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
事業負担金	6,650,000円	6,650,000円	6,650,000円
総事業費	13,660,690円	13,006,737円	15,000,000円
事業内容	テキスタイルフェア・産地活性化講演会・産地バザール・東京展示会出展など		
入場者数	3日間 10,000人	2日間 8,000人	2日間 8,000人
東京展示会入場者数		7日間 244,326人	7日間 250,000人

成果指標

成果指標名	負担率	入場者率
成果指標の説明	負担金額 / 総事業費 × 100	1日当り入場者数 / 人口 × 100

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			44.3%
	実績	48.7%	51.1%	
成果指標	計画			4.9%
	実績	4.1%	4.9%	
事業費	事業費	6,650	6,650	6,650
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	8,259	8,207	8,228
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,259	8,207	8,228

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	2	2	平成18年度から東京展示会へ出展し新たな顧客の取得に取り組むなど、繊維産業の活性化を図っている。
経済効率性	2	2	2	1	蒲郡だけでなく東京出展により、より多くの人々に蒲郡の繊維をアピールでき成果を上げている。
事務効率性	2	2	2	1	テックスビジョンミカワ開催委員会に対して負担金を交付し、事業実施企画に参画し成果を上げている。
必要性	2	2	2	2	蒲郡市の地場産業である繊維産業の活性化を図るため、今後も必要である。
小計	9	8	8	6	
施策への貢献度	2	-	2	-	低迷が続く繊維産業にあって、産地バザーなど市民にもこのイベントが定着し、商業の発展に貢献している。
合計	11	8	10	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	C	繊維産業の振興に向けて東京展示会出展という新たな取り組みを実施し、三河木綿のPR等も実施し、繊維産業の活性化に貢献している。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
繊維産業の振興に重点を置き、平成18年度からファッションコンテストを廃止し、東京で行われている展示会（ギフトショウ・ジャパングリエーション）へ出展し、新たな顧客の開拓に活路を見いだす事とする。	

### 今後改善すべき点

テキスタイルフェアについては商談につながるような新たな工夫を考える必要があると思われる。産地活性化講演会については、蒲郡市内の繊維産業関係者から広く意見を求め、真の活性化につながる講演会を計画して行く必要がある。
--

### 平成20年度予算に反映する項目

--

### 今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1204
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	商店街活性化事業		
根拠法令等	商業団体等事業費補助金交付要綱等	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	近年衰退傾向にある商店街に
手 段	補助金を支出することによって活性化への取り組みを支援し
想定する成果	商店街の活性化及び地域コミュニティの再構築を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
総事業費	15,022,650円		21,429,325円		17,416,225円	
補助対象額	14,969,959円		20,886,654円		17,416,225円	
補助金交付額	8,756,000円		11,340,000円		9,729,000円	
商業団体等事業費補助金	6件	760,000円	6件	2,968,000円	5件	929,000円
商店街活性化事業支援補助金	2件	377,000円	2件	296,000円	3件	1,000,000円
街路灯等電灯料補助金	8件	7,619,000円	8件	8,076,000円	8件	7,800,000円

成果指標

成果指標名	総事業費に占める補助金の率	補助対象額に占める補助金の率
成果指標の説明	補助金交付額 / 総事業費	補助金交付額 / 補助対象額

事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			55.9%
	実績	58.3%	52.9%	
成果指標	計画			55.9%
	実績	58.5%	54.3%	
事業費	事業費	8,756	11,340	9,729
	人件費	4,826	3,892	3,945
	(人数)	0.6	0.5	0.5
	合計	13,582	15,232	13,674
財源内訳	国			
	県	1,485	1,502	1,485
	市債			
	その他			
	一般財源	12,097	13,730	12,189

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	2	2	商店街を取り巻く環境の厳しい中、街路灯の維持管理等公共の福祉の増進に貢献できた。
経済効率性	2	2	2	2	事業内容によって補助率が20%から70%であるが、有効に利用している。
事務効率性	2	3	1	2	前年に各団体から要望書を徴収しており、それに基づき予算化しているため事務効率は良好である。
必要性	3	2	3	2	少子高齢化が進む中、高齢者の買い物場、地域コミュニティの場として商店街の活性化及び存続を図る意味でも必要である。
小計	10	9	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを支援することにより、商業の振興に貢献している。
合計	12	9	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	後継者不足や経営者の高齢化など、厳しい状況下にある商店街が、街路灯の維持管理等公共の福祉の増進に努め、自らのアイデアで商店街の活性化を図るなど出来た。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度まで補助金の説明会を実施していたが、大きく内容が変わらないため廃止した。	

今後改善すべき点

商店街の街路灯と一般の防犯等が混在して申請が出ている所があり、精査する必要があると思われる。
--

平成20年度予算に反映する項目

街路灯等電灯料補助金の補助率については、平成19年度まで50%が70%に変更されているが、最近では地域の防犯灯的役割が増大しており、公共の福祉増進に寄与する部分が大きく平成20年度以降も同補助率としたい。
--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】



## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1204
事業コード		事務事業名	織物文化普及事業	
根拠法令等	なし	A 法令	B 条例	C 規則
		D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡の住民に対し
手 段	勤労福祉会館において、手織教室及び親子手織り教室を開講することで
想定する成果	蒲郡市の伝統産業である繊維産業の伝承及び普及を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
募集人員	10人	10人	10人
応募者数	10人	10人	10人
織物文化普及事業	主力地場産業である繊維産業の活性化を図る目的の一環で、織物を文化と捉えた市民向けの手織り教室等を開催する。手織機10台で教室は10回開催する。		

成果指標

成果指標名	参加者率	手織教室1回当たりの経費
成果指標の説明	応募者数 / 応募人員数	講師謝礼 / 10回

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	100.0%	100.0%	
成果指標	計画			15
	実績	15	15	
事業費	事業費	165	156	180
	人件費	804	778	789
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	969	934	969
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	969	934	969

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	手織教室は募集人員に対し、常に定員の応募があり事業が実施されている。
経済効率性	3	3	2	3	少ない予算の中で、市民の織物についての関心が生まれてきている。
事務効率性	2	2	2	2	市広報にて参加者を募集し、手織教室は講師にお願いして実施している。
必要性	2	2	3	2	蒲郡市の地場産業である繊維産業の活性化を図るため、今後も必要である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	地道な活動が市民へ徐々に伝わり貢献につながっている。
合計	11	9	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	蒲郡くらふとフェア参加によって、より多くの人々に地場産業である繊維産業についての伝承及び普及が図られている。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度から始まった蒲郡くらふとフェアに手織機を持って行き、体験コーナーを設置し実施しているが、参加も多く常に賑わいを見せている。	

今後改善すべき点

蒲郡市の繊維産業の歴史が市民を含め観光客等に見ていただける機会をつくる必要がある。
---

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1204
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	各種商工団体補助事業				
根拠法令等	蒲都市補助金交付規則		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業・工業
------------------	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	市内中小企業の加盟する団体に対して
手 段	運営事業費の一部を補助することによって
想定する成果	各団体の発展・活性化を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
総事業費	23,175,104円	14,208,258円	16,941,091円
補助対象額	13,472,706円	4,950,011円	7,097,000円
補助金交付額	6 件 2,340,000円	3 件 1,290,000円	3 件 1,250,000円
市商連運営事業費補助金	1,100,000円	700,000円	700,000円
鉄工会運営事業費補助金	650,000円	350,000円	350,000円
三河鐵道振興会運営事業費補助金	270,000円	240,000円	200,000円

成果指標

成果指標名	総事業費に占める補助金額の率	補助対象事業費に占める補助金の率
成果指標の説明	補助金交付額 / 総事業費	補助金交付額 / 補助対象額

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			7.4%
	実績	10.1%	9.1%	
成果指標	計画			17.6%
	実績	17.4%	26.1%	
事業費	事業費	2,340	1,290	1,250
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,949	2,847	2,828
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,949	2,847	2,828

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	各団体の実施する事業に対し補助することにより、団体の発展・活性化に寄与している。
経済効率性	2	2	2	1	事業費に占める補助金の率は低く、各団体が補助金を有効に利用している。
事務効率性	3	3	2	2	前年に各団体から要望書を徴収しており、それに基づき予算化しているため事務効率は良好である。
必要性	2	2	2	2	平成18年度に補助金の見直しを実施したが、各団体の発展・活性化を図るためにも必要である。
小計	9	9	8	7	
施策への貢献度	2	-	2	-	厳しい状況下にある既存商店街の活力維持に貢献している。
合計	11	9	10	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	C	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成18年度に補助の廃止を含め補助金額を見直しを実施した。	18年度 1,050,000円 19年度 40,000円

今後改善すべき点

各団体の発展・活性化につながる事業に対し補助をしていく。
------------------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
事業コード		事務事業名	くらふとフェア蒲郡	
根拠法令等	なし		A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	商業
------------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	一般市民、観光客に対して
手 段	毎年11月に開催されるくらふとフェア蒲郡に負担金を支出し、伝統的な日本のモノづくりの交流の場を提供することにより
想定する成果	人々の生活の中の潤いと安らぎの提案、地域のモノづくりの再生に繋げる。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
負担金	3,000千円	3,000千円	2,700千円
総事業費	3,680千円	3,821千円	4,450千円
出展者数	148組	182組	200組
入場者数	13,000人	20,000人	22,000人

成果指標

成果指標名	入場者1人に対する費用	負担金割合
成果指標の説明	総事業費 / 入場者数	蒲郡市負担金額 / 総事業費 × 100

事業の進捗状況 ( 一般会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			202円
	実績	283円	191円	
成果指標	計画			61.0%
	実績	82.0%	79.0%	
事業費	事業費	3,000	3,000	2,700
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	5,413	5,335	5,067
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,413	5,335	5,067

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	-	18評価	-	
達成度	2	-	2	-	入場者数、出展者数が1回目に比べて増加している。このイベントが、多くの市民に認知されてきている。
経済効率性	2	-	2	-	事業費が、入場者1人に対しての費用で換算すると、267円となり、前年度比 35.8%の効率をあげた。
事務効率性	2	-	2	-	この事業は、第2回と回数が少ないため、職員の事務量を減らす段階にはないが、回数を重ねることにより所用時間の減につないでいる。
必要性	2	-	2	-	この事業を受け入れできる組織がないため、市の役割が必要である。
小計	8	0	8	0	
施策への貢献度	2	-	2	-	機械化による大量生産時代に、手仕事を中心としたモノづくりの大切さの認識を図ることができた。
合計	10	0	10	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	-	B	-	このイベントをとおして、「モノづくりの大切さ」を多くの市民が、楽しみながら再確認できた。特に、子どもたちが、モノづくりの楽しさを体験することができた。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
17年度から開催している。	

今後改善すべき点

1 現在の会場が広いので、より多くの出展者を募っていきたい。 2 市内の出展者が、増加するように努めたい。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】